

新たな「自殺総合対策大綱」に関する調査票

重点施策における項目	担当課		本市の基本施策に当てはまると と思われる項目		
2.国民一人ひとりの気づきと見守りを促す					
児童生徒の自殺対策に資する教育の実施 ・命の大切さ・尊さ、SOSの出し方、精神疾患への正しい理解や適切な対応を含めた心の健康の保持に係る教育等の推進	青少年課	子ども向け「自殺、いのちの大切さ」について企画したい。	基本施策 6		
	市民健康課	・『SOSの出し方』（11月29日） 対象：岩瀬中学校2年生 ・『SOSの受け止め方』（11月29日） 対象：岩瀬中学校2年生保護者、市内小中学校教職員、関係者等 ・『いのちの教室』（随時開催） 市内小中学校 内容：いのちの誕生、二次性徴、多様性等	基本施策 2	基本施策 7	基本施策 9
	教育センター	○市教育センター企画研修会 （第2回教育課題研修会） 日程：令和4年8月16日(火)14：00～16：30 場所：深沢学習センター　ホール 演題：「いじめからいのちを守る　～基本的自尊感情の大切さ～」 講師：日本ウェルネススポーツ専門学校　教授　近藤　卓　氏、対象：鎌倉市立小・中学校教職員希望者、市内幼稚園教諭・認定子ども園保育教諭・保育園保育士、子どもの家指導員希望者32名参加	基本施策 1		
	教育指導課	・道徳の授業において「SOSの出し方」「いのちの授業」を実施、保護者に周知している。 ・11月29日講演会「SOSの出し方」「SOSの受け止め方」市民健康課にて実施予定			
自殺や自殺関連事象等に関する正しい知識の普及、うつ病等についての普及啓発 ・「自殺は、その多くが追い込まれた末の死である」「自殺対策とは、生きることの包括的支援である」という認識の普及 ・メンタルヘルスの正しい知識	商工課	ひきこもり状態にある若者等の就労支援としてセミナーと相談会、個別にカウンセリングを実施。 また、産業カウンセラーによるメンタルヘルスカウンセリングを実施（既存事業の有効利用）。	基本施策 3	基本施策 5	
	高齢者いきいき課	地区社協等が生活支援コーディネーターと地域のニーズや地域資源の把握、情報共有を行う「協議体」において、「ゆるやかな見守り」をテーマに引き続き協議していく（深沢地区・鎌倉地区の一部）	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 8
	障害福祉課	一般市民向け講座「『思春期・青年期』の依存及び自傷行為の本質と必要なケア、周囲ののぞましい関わり方」について	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 9
	市民健康課	①いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会「自殺対策講演会」会場30名・オンライン13名 ②ゲートキーパー講座 ・市民向け33名、専門職向け18名 ・地域・関係機関から依頼延べ373人（13回）	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 3
	教育指導課	・教職員向け研修の実施			
4.自殺対策に関わる人材の確保、養成及び資質の向上を図る					
ゲートキーパーの養成 ・若者を含めたゲートキーパー	地域共生課	他の市民サポーター制度の講習参加者へのゲートキーパー講習への案内等周知を実施。			
	商工課	ひきこもり状態にある若者等の就労支援としてセミナーと相談会、また個別にカウンセリングを実施。			
	青少年課	市民健康課が主催するゲートキーパー養成講座に、市内全ての子どもに携わる放課後児童支援員やコーディネーターが参加する。→継続したい	基本施策 2		
	高齢者いきいき課	地区社協等が生活支援コーディネーターと地域のニーズや地域資源の把握、情報共有を行う「協議体」において、「ゆるやかな見守り」をテーマに引き続き協議していく（深沢地区・鎌倉地区の一部）	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 8
	障害福祉課	一般市民向け講座「カウンセラーによるゲートキーパー養成講座」	基本施策 2	基本施策 7	基本施策 8
	市民健康課	【再掲】 ①いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会「自殺対策講演会」会場30名・オンライン13名 ②ゲートキーパー講座 ・市民向け33名、専門職向け18名 ・地域・関係機関から依頼延べ373人（13回）	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 3
自殺対策従事者への心のケア ・スーパーバイザーの役割を果たす専門職の配置等を支援	市民健康課	[課題：自治体にはスーパーバイザーの配置がなく、現時点では県精神保健福祉センターからスーパーバイズを受けている] ワーキンググループ事例検討会「希死念慮のあるケースへの支援について」令和4年10月6日（木）県保健福祉センターのコンサルテーション活用（医師2名・相談員1名）	基本施策 2	基本施策 4	
	教育センター	市立小学校には教育相談員（市費）、市立中学校にはスクールカウンセラー（県費）を配置。スクールソーシャルワーカーの活用（市費・県費）			
家族・知人、ゲートキーパー等を含めた支援者 への支援	商工課	ひきこもり状態にある若者等の就労支援としてセミナーと相談会、また個別にカウンセリングを実施。			
	青少年課	巡回相談員を配置し施設現場スタッフからの相談や困りごとを聞いている	基本施策 2	基本施策 7	
	高齢者いきいき課	地域包括支援センターにより、日ごろから支援対象者への見守り、相談等を実施する。	基本施策 7	基本施策 8	
	市民健康課	・県域主催の自殺関連の研修を関係各課に周知 ・ゲートキーパー養成講座内で支援者のストレス対策や相談先を周知	基本施策 1	基本施策 2	基本施策 3
	警防救急課	救急隊は、自殺未遂、自殺を完成させてしまった方に接触するため、[傾聴後、専門家に繋ぐ役割となり、相談できる窓口を紹介していきたい]			

重点施策における項目	担当課		本市の基本施策に当てはまると思われる項目		
7.社会全体の自殺リスクを低下させる					
相談体制の充実と相談窓口情報等の分かりやすい発信、アウトリーチ強化	地域共生課	関係部署と連携し、サポートリスト等よりわかりやすい手法を検討しながら相談先、支援の案内を実施。			
	納税課	相談窓口の案内 納税課窓口において、相談窓口のリーフレットを常備するとともに、相談者の所得や家庭状況を鑑み相談窓口の利用を促している。	基本施策1		
	商工課	LINEによる情報発信を実施。	基本施策1		
	こども相談課	第6分庁舎に開設した「こども相談窓口きらきら」の周知を図ることにより、相談体制のワンストップサービスが図る。また、こどもと家庭の相談室において、電話・面談・LINEでの相談を実施するとともに子育て世帯の負担軽減に向けて配食事業を実施するなどアウトリーチを強化。			
	青少年課	令和4年度巡回相談員を1名増員し施設現場へのアウトリーチを強化した	基本施策6		
	生活福祉課	・自立相談支援機関やひきこもり相談窓口について、広報や市ホームページ、チラシ等で周知を図っている。 ・スマイルフードプロジェクト（第4土）の会場に相談ブースを設け、出張相談窓口としている（商工課や市民健康課と協働）。			
	高齢者いきいき課	各地域包括支援センターの協働で、センターの活動や相談窓口を周知するチラシ「さわやかなまち鎌倉」を作成し、周知を図っている。	基本施策1	基本施策7	基本施策8
	障害福祉課	鎌倉市障害者支援協議会 精神保健福祉部会作成「相談支援のための精神保健福祉情報ガイド☆かまくら」を発行	基本施策1	基本施策4	基本施策8
	市民健康課	・サポートリストの配布 ・ホームページのレイアウト変更 ・自殺予防週間（3月）自殺予防月間（9月）に併せて市役所ロビーにてパネル展示 ・フードスマイルプロジェクト（生活福祉課）に併せて身体とこころの相談会を実施	基本施策1	基本施策3	基本施策7
	教育センター	・電話による相談窓口（平日9：00-17：00）			
	警防救急課	119番通報を受ける指令情報課が相談を受けた場合の対応として窓口紹介をしていく。[課題として、患者の様態によって窓口紹介することができないため、病院から紹介してもらうことも考えていかなければならない]			
ICT（インターネット・SNS等）活用 ・SNS等を活用した相談事業支援の拡充、ICTを活用した情報発信を推進。	地域共生課	関係部署と連携し、サポートリスト等よりわかりやすい手法を検討しながら相談先、支援の案内を実施。			
	商工課	LINEによる情報発信を実施。	基本施策1		
	こども相談課	LINE相談を実施中			
	青少年課	未実施[いのちの大切さを伝えるプログラム等、関係課と連携していく]	基本施策6		
	生活福祉課	市ホームページやLINE,Twitterで相談窓口の周知を行っている。			
	市民健康課	（県の事業の活用を検討）	基本施策1		
	教育センター	子どもSOS相談フォーム（市立小中学校対象、貸与しているタブレット端末によるSOS発信）			
	警防救急課	現在はしていない。他課と協力してできることがあれば対応したい。			
インターネット上の誹謗中傷及び自殺関連情報対策の強化 ・自殺の誘引・勧誘等情報についての必要な自殺防止・措置・サイバーパトロールによる取組を推進 ・特定個人を誹謗中傷する書き込みの速やかな削除の支援や人権相談等を実施	地域共生課	人権相談、人権啓発を実施。			
	青少年課	未実施[いのちの大切さを伝えるプログラム等、関係課と連携していく]	基本施策6		
	市民健康課	ゲートキーパー養成講座、いのちの教室で周知	基本施策1		
性的マイノリティの方等に対する支援の充実	地域共生課	人権相談、人権啓発、ジェンダー平等に係る啓発を実施。			
	青少年課	未実施（いのちの大切さを伝えるプログラム等、関係課と連携していく）			
	市民健康課	いのちの教室にて、多様な性について情報提供	基本施策1	基本施策6	
自殺対策に資する居場所づくりの推進 ・オンラインでの取組も含めて孤立を防ぐための居場所づくり等を推進	地域のつながり課	公会堂等建築改良工事費補助金 ・公会堂等の維持修繕等を行う自治会・町内会に対し補助金を交付 公会堂等賃借料補助金 ・公会堂等を有償で賃借している自治会・町内会に対し補助金を交付	基本施策7	基本施策8	
	青少年課	未実施 [子ども・若者育成プランに掲げる青少年の居場所づくりを重点施策として協議検討中]	基本施策6		
	生活福祉課	・主任児童委員による子育てサロン（9か所）の実施（月1回程度） ・ひきこもりの居場所の実施（月4回） ・民生委員の集まり（月1回）で情報共有を行っている			
	高齢者いきいき課	地域包括支援センター等により、地域のサロンなどの居場所の把握に努める。	基本施策7	基本施策8	
	市民健康課	ゲートキーパー養成講座等を通して、地域や各関係課と連携し、居場所づくりを推進	基本施策1	基本施策2	基本施策6

重点施策における項目	担当課		本市の基本施策に当てはまると と思われる項目		
8. 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ					
医療と地域の連携推進による包括的な未遂者支援の強化 ・自殺未遂者を退院後に円滑に精神科医療につなげる ・ための医療連携体制の整備 ・自殺未遂者から得られた実態を分析し、匿名でのデータベース化を推進	市民健康課	事例検討会「希死念慮のあるケースへの支援について」 令和4年10月6日（木）13：30 ワーキンググループ構成員14名 県保健福祉センターコンサルテーション事業活用（医師2名・相談員1名）	基本施策2	基本施策3	基本施策4
家族等の身近な支援者に対する支援 ・傾聴スキルを学べる動画等の作成・啓発	市民健康課	ゲートキーパー講座（市民向け） 演題：「誰も自殺に追い込まれることのない”生き心地のよい鎌倉市”をめざして」 日時：令和5年1月28日（土） 講師：小牧奈津子氏（NPO法人ライフリンク） 藤井美智子氏（NPO法人全国自死遺族総合支援センター） 参加者：33名	基本施策1	基本施策2	基本施策8
9. 遺された人への支援を充実する					
学校、職場等での事後対応の促進 ・学校、職場、公的機関における遺族等に寄り添った事後対応等の促進	市民健康課	個別のケース支援等	基本施策1		
	教育センター	教育相談員、スクールカウンセラー、 スクールソーシャルワーカー による対応	基本施策3		
	教育指導課	事後の対応などを想定し、教職員間で準備は進めている。			
10. 民間団体との連携を強化する					
民間団体の相談事業に対する支援 ・多様な相談ニーズに対応するため、SNS等を活用した相談事業支援を拡充	地域共生課	LINEによる問い合わせ対応を実施。			
	教育センター	情報共有	基本施策1		
	教育指導課	情報共有			
11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する					
学生・生徒への支援充実・長期休業の前後の時期における自殺予防を推進 ・タブレット端末の活用等による自殺リスクの把握やブッシュ型の支援情報の発信を推進 ・学校、地域の支援者等が連携して子どもの自殺対策にあたることができる仕組みや緊急対応時の教職員等が迅速に相談を行える体制の構築 ・不登校の子どもへの支援について、学校内外における居場所等の確保	青少年課	学校に足が向かない児童の居場所として放課後かまくらっ子施設が機能している [児童生徒にとっての第3の居場所づくりについて協議検討中]	基本施策7	基本施策8	基本施策9
	教育センター	・関係機関との情報共有、連携 ・不登校児童生徒に対しては教育支援教室「ひだまり」への通室 ・児童生徒指導担当者とフリースクール等との連絡会を実施 4月28日（木）→ (金) 鎌倉生涯学習センター ホール→ 鎌倉生涯学習センター 第5集会室	基本施策1		
SOS の出し方に関する教育の推進 ・命の大切さ・尊さ、SOS の出し方、精神疾患への正しい理解や適切な対応を含めた心の健康の保持に係る教育等の推進 ・子どもがSOSを出しやすい環境を整えとともに、大人が子どものSOSを受け止められる体制を構築	市民健康課	・『SOSの出し方』（11月29日） 対象：岩瀬中学校2年生 ・『SOSの受け止め方』（11月29日） 対象：岩瀬中学校2年生保護者、市内小中学校教職員、関係者等 ・『いのちの教室』（随時開催） 市内小中学校 内容：いのちの誕生、二次性徴、多様性等	基本施策2	基本施策7	基本施策9
	教育センター	・市立小中学校へ子どもSOS相談フォームのポスター掲示を依頼 ・市立小中学校へ「教育センター相談室の案内」を送付	基本施策1		
子ども・若者への支援や若者の特性に応じた支援の充実 ・SNS等を活用した相談事業支援の拡充、ICTを活用した情報発信を推進	こども相談課	こどもと家庭の相談室において、電話・面談・LINEでの相談を実施。			
	教育センター	子どもSOS相談フォームの運用	基本施策3		
知人等への支援 ・ゲートキーパー等を含めた自殺対策従事者の心の健康を維持する仕組みづくり	青少年課	生きづらさを持つ若者を支援する事業所を対象にR5.1月28日に講演会を実施する。（児相、NPO法人等を招く。チラシ作成中）	基本施策7	基本施策8	基本施策9
	市民健康課	【再掲】 ①いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会「自殺対策講演会」 会場30名・オンライン13名 ②ゲートキーパー講座 ・市民向け33名、専門職向け18名 ・地域・関係機関から依頼延べ373人（13回）			
子ども若者の自殺対策を推進するための体制整備 ・こども家庭庁と連携し、体制整備を検討	青少年課	内閣府事業にこどもの居場所づくり支援（施設や交流を促す施策）が掲げられており、国の動向を注視しながら検討	基本施策7	基本施策8	基本施策9
	市民健康課	今後国から出される指針等に基づき検討していきます	基本施策2	基本施策8	基本施策9
	教育センター	市内小中学校との連携、情報共有			
	教育指導課	・委員会（いじめ防止）活動 ・主体的に子どもが取り組むプログラムとして「スクールバディ活動（年3回）」			

重点施策における項目	担当課		本市の基本施策に当てはまる と思われる項目		
13.女性の自殺対策を更に推進する（新設）					
妊産婦への支援の充実 ・ 予期せぬ妊娠等により身体的・精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等について性と健康の相談センター事業等による支援を推進	こども相談課	困難を抱える妊産婦について、市民健康課と連携し、サービス調整等の支援を実施。			
	市民健康課	・ 継続的な相談（電話、面談、訪問） ・ 子育て世代包括支援センターにおける母子健康手帳交付時の面接にはじまり悩みや不安のある妊産婦支援、母児の愛着形成支援 ・ 産後ケア事業にて産後の母の心身の回復、セルフケア能力向上のためのサービス	基本施策 2	基本施策 9	基本施策 10
コロナ禍で顕在化した課題を踏まえた女性支援 ・ 子育て中の女性等を対象にきめ細かな就職支援 ・ 配偶者等からの暴力の相談体制 の整備を進める等、被害者支援の更なる充実 ・ 様々な困難・課題を抱える女性に寄添ったきめ細かい相談支援等の地方公共団体による取組を支援	地域共生課	女性相談、関係機関との連携による支援、性暴力防止に関する啓発を実施。			
	こども相談課	配偶者等からの暴力の相談があった場合、県や市の相談につなぐ。			
	市民健康課	・ コロナ禍に伴い孤立し不安を抱えた子育て中の女性に対して状況に応じた個別支援（電話・面接・訪問）とコミュニティーへの繋ぎ ・ 各相談先の紹介、周知	基本施策 8	基本施策 9	基本施策 6
困難な問題を抱える女性への支援	地域共生課	女性相談、関係機関との連携による支援、性暴力防止に関する啓発を実施。			
	商工課	産業カウンセラーによるメンタルヘルスカウンセリングを実施。	基本施策 10		
	市民健康課	1. 個別支援…保健師、助産師等の直接的な相談、さらに必要に応じ関係機関との連携した支援 2. 相談窓口や社会資源（一時保育利用等サービスの提供）の案内	基本施策 7		

※福祉総務課：個別事業はないが、福祉行政を総括する課として、部内各課の連携調整を担っていく。